

～ノロウイルス対策について～

(次亜塩素酸ナトリウム液の調製方法)

ノロウイルスの対策には、市販の家庭用塩素系漂白剤（キッチンハイターなど）による消毒が有効です。キッチンハイター（塩素濃度約5%）を使用した消毒液の作り方を例として示しますので、避難所や家庭で消毒液を作る際の参考としてください。

1 消毒液の作り方

【便や吐物が付着した床やおむつなどを消毒する場合】

①塩素濃度	1,000ppm（0.1%）以上
②作り方	水500ml に対しペットボトルキャップ2杯(約10ml)

【トイレの便座やドアノブ、床などを消毒する場合】

①塩素濃度	200ppm（0.02%）以上
②作り方	水1,000ml に対しペットボトルキャップ1杯(約5ml)

2 拭き取り方法

- (1) ノロウイルスの汚染が起こりやすい場所は、手指が触るところ（扉の取っ手、水道の蛇口など）、糞便で汚染したところ（トイレの便座、フタなど）、嘔吐物で汚れたところです。消毒はこれらの場所を中心に行ってください。
- (2) 下痢や嘔吐物は、マスクや手袋を着用してペーパータオル等で拭き取ってビニール袋に入れ、しっかり封をして廃棄しましょう。
- (3) 次亜塩素酸ナトリウム液は、遮光せずに保管すると殺菌力が低下します。原液、希釈液ともに日光のあたらない場所で保管し、できるだけこまめに作りましょう。

3 その他

- (1) ノロウイルスとは

嘔吐・下痢などの感染性胃腸炎を起こすウイルスで、感染者の吐物・便の中にウイルスが多く含まれています。感染力のとても強いウイルスで、少量（100 個以下）でも発症します。集団生活の場では、感染がひろがりやすいので注意が必要です。

- (1) 子どもが誤って消毒液を飲まないように、子どもの手の届かない場所に保管しましょう。
- (2) 消毒液が皮膚又は衣類についたら、すぐに流水で流しましょう。